

# 路政春秋



## 技術向上運動と戦時

### 土木事業

戦時經濟下に在つては道路改良の如き土木事業の如き其の財源を制約せらるゝが故に最少の財源に依り最大の効果を擧げねばならぬ難局に直面して居る、此秋に當り大阪市に於ては技術者を綜合して技術向上運動を起し技術報國の赤誠を竭さんことを決定したと日笠市技師よりの通信があつた、寔に國民精神總動員運動の一として適機の計畫と思はる其趣旨と主要目標は次の如きものである、**趣旨**、事業第一主義は我が大坂市の誇るべき傳統である。この光輝ある

傳統は現下の非常時局に際會して、益々その重要性を増大するものと云はねばならぬ、事業第一主義は其の基礎として優秀な技術の存在を缺くべからざる要件とする即ち卓越せる技術の存在に依つてのみ事業第一主義の成果を完ふし得るものと云はねばならない。

時偶々國民精神總動員運動が澎湃として全國に起り時艱に對ふる國民の愛國の赤誠を具現しつゝある。本市に於ても既に「國民精神總動員大阪實行委員會」が組織せられ、三百萬市民を擧げて愛國の熱意を披瀝しつゝあるのであるが、殊に公職に身を奉ずる我々市職員としては率先この運動の實

#### 注 意

本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に渡らざる限り奇想天外的の奇稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のことは。

踐を期して去る十月六日職員大會に於てその決意を固くした次第である。

この技術向上運動は、この新しき時潮と使命に適應すべき技術水準の開拓を意味するものであり、本市傳統の事業第一主義を擴充して時艱に對處せんとする努力の一の表現に外ならない。是れ故に本市土木、建築、電氣、機械等の全技術部門を擧げて技術精神の陶冶、技術の向上を圖り、以て非常時産業都を擔ぶ市政の使命の完全なる遂行とその擔みなき發展とを期せんとする所以である。

されば本運動は、この使命達成への全市技術職員及び一般職員の熱意の綜合であ

り、形式的な一時的の週間行事ではなく、永續的恒常的に技術水準の向上を追求する運動でなければならぬ。十一月十五日より一週間の技術振興週間は單にその烽火であつて之に引續き各種の方法を以て、歩一歩技術の進歩と向上の歩武を進め、高き技術水準の實現と維持を計り、永く本運動の成果の確保に努めねばならぬ。

目標 一、技術の向上、二、現場の振興  
三、物資の愛護、四、協力協調、五、市民への奉仕、

尙此向上運動は技術水準の一般的向上とその維持を目標とするものであるから、相當長期に亘り着々その工を進める必要がある。そこで本運動の期を約六箇月とし振興週間の終了後明年四月上旬迄之を繼續せんとする。

## 交通機關の圓滑は其の運営に在り

京都の市電、市バスの運轉系統、配車ならびに電車とバスの乘繼制に對しては從來常に市民の非難を受け話題を提供してゐたが、今回市電氣局では出來得るかぎりこれら市民の要望にそふべくすでに乘繼制に對しては大改正を行ひ目下内務省に申請中であるが實現の上は電車とバスの乘繼聯絡は非常に便利となるわけであるが、さらに運轉系統、配車その他市内交通の全面的統制に根本的改革を加ふるべく、これが基礎調査として本月下旬から市街交通量の調査に着手することゝなつた。

京都におけるこの種調査昭和八年十月第一回の交通調査を行つたのみで以來滿四年、その間外廊線の延長にともなつて電車は約八キロ、バスは約二十五キロの營業キロ數を増加し當時の状況とは全く隔世の發展を示してゐるので今回現状の根本的調査を行つて交通機關の運営は大改革を加へようといふので、調査は單に電車、バス

の乗客調査にとゞまらず府當局の援助を求め目下交通統制の問題となつてゐるタクシー、トラツクをはじめ歩行者その他各種交通機關に對して全面的の調査を行ひ、これによつて運轉系統の合理化、配車、車間隔の適正を期するはもちろん將來の外々線ならびに高速度交通機關の實現に對する主要なる資料とせんとするものである。

## ありやなしやの珍聞 奇譚(9)

○奇傑高杉晋作の先見明治維新の奇傑長藩々士高杉晋作は文久二年即ち今より七十六年の昔既に上海の地が東洋平和の嚆となることを豫見して居つたことが明かにされた夫れは文久二年五月六日から七月六日まで二ヶ月間上海に滞在視察後歸朝、當時上海條約を前に攘夷の先決問題たることを高唱したものである。この高杉晋作の書翰が奇しくも上海で皇軍が總攻撃にうつり敵の

全線を崩潰、退却にうつらしめた二十四日高杉生誕地を守つてゐる久繼富之進氏によつて發見貴重な史料として生誕地に保存することになつたが、右書翰の文面は、

貴翰奉拜見候、さて先日御願申上候願書被下御調由奉恐入候、印代判被差申出候何卒今日御寄合に被差出候様奉願上候出津御手形などの事被仰遣有奉存候、その心得にて日限可申出候、實は出立一日も早く致度候故近々政府にも申込置其儀被下御合、不都合無之様御取計偏奉願候恐入候儀に候得共丸に御願申上候、不案内者の儀に付其段御降恕可被下候、先は御報まで如此御座候勿々頓首

八月十一日

二白 御心易き儀に付以内翰御答申出候御免可被下候、且此上萬端御差圖宜敷奉願候以上  
境興三兵衛様

高杉 晋作

と如何にも奇傑高杉の性格を現はす絶筆をふるつてゐるが、この書面は高杉が上海視察の年文久二年八月十一日自宅（現在史蹟の生誕地）で書いたもので、當時藩論統一、公武合體論が叫ばれ、毛利藩の若殿元徳公が朝命をうけて上洛中を公武合體阻止論を眞向からふりかざし元徳公の後を追つた時「出津手形」の斡旋を願つた書面で高杉二十四歳の時である、なほ高杉の遺した書翰は、その數少くこの遺墨は秋市勤王館建設の上にも貴重な史料となるわけである

○珍鳥朱鷺の存在 佐渡に天然記念物として誇る名鳥「朱鷺」は實際にその姿を見たものが少く果して棲息してゐるか？……とその存在さへ疑はれてゐたが、今度同名鳥の巢が加茂村和木地内及び松ヶ崎山中で發見されたこれが存在を疑はれた朱鳥の棲息は立證されたが而も朱鷺の巢をカメラに収めたなど全く珍しい事である。

○有脚の珍魚蝙蝠魚 東印度海岸からフロ

リダ地方へかけて海岸、河口、湖沼に棲んでゐるもので、蝙蝠魚の名がある。この魚の運動は一種獨特なものでその所謂「脚」（實は鰭の變形したものである）を交互に動かして砂の上を自由に歩き廻る。また大きな二つの（後鰭）腹鰭をも同時に動かして前進する場合も多い、この時には尻鰭が左右に浮動的な運動をしてゐる。

獨逸の有名な魚學者シュナツケンベツク博士の報告によると、この魚は一種の地上魚で常に地上にゐるのが習性であると云ふ肢はひどく扁平で、前頭部には尖つた突起が突き出てゐる。口は比較的小さい。この突起と口との間には凹みがあつて、そこに觸覚器がある。大きな肩帶骨格から獨得の形をした胸鰭が出てゐる。鰓孔は非常に小さく、眼は外に向つてゐて、皮膚全體が骨小體（小さい骨子）で被はれてゐる。からだの上部は淡い灰色だが、下部は赤味を帯びてゐるので、一寸いもりに似た感じで無氣味である。からだの長さは三〇センチ。この魚の生態や生殖については未だ詳しい研究がない。